

毎週日曜発行
2024 3/17

こども新聞 週刊がほピョンプレス

河北新報社 TEL.022-211-1111(月曜から金曜)



こども記者が取材

ニュース



漁師の減少を抑えるには？

子どもが減って高齢者が増えています。日本の現在の人口は約1億2000万人。30年後には9000万人台になると予想され、いろんな業界で人手不足が大きな課題になっているんだよ。

(8面に関連記事)

こども記者の宮城県松島町の野莉乃さん(11)と石巻市大谷地小5年の永沼好将さん(11)は、漁師の減少を抑えようと活動する団体取材しました。

石巻市の一般社団法人「フィッシャーマン・ジャパン(FJ)」は、若手漁師を育成する「トリトンプロジェクト」に力を入れていきます。

国によると、全国の漁業従事者数は、1993年の約32万人から2021年には約13万人と、6割減少。11年の東日本

きょうのテーマ

みんな思い出

みんな動こう

みんな知りたい

みんな守ろう

みんなトモダチ

働く環境整え稼ぐ浜へ



香川さん(左)に取材する田多野さん(中央)と永沼さん

大震災も影響しています。



FJ広報の香川幹さん(26)は「津波で船や漁具が全て流され、人もいなくなり、漁業がなくな

るといふ危機感がありました」と14年に発足した理由を説明します。田多野さんがプロジェクトの具体的な内容を聞くと、①漁師体験学校②求人情報などの発信③若手漁師向けのシェアハウス整備④相談できる場

所づくりの4点を挙げました。香川さんは「小学生から一般の人まで、タコ漁やカキむきなどさまざまな体験イベントを開いています。漁師になった後も心地よく働けるサポートも大事です」。永沼さんは人手不足を補うためのAI導入について質問しました。香川さんは「まだこれからだと思ふ。漁場は広く、海流や海水温などは、その時々で大きく変わる。予測が難しく、人の現場感覚が生きる世界です」と答えました。



FJの8年間の活動により、3年以上漁業に従事する人は47人に。「若い人がいれば、浜は活気づく。販売力を付け、より稼げるようにしたいです」と香川さん。「資源が減っては元も子もありません。『稼げる・かっこいい・革新的』な漁業を実現するには、海の環境をよくするなど課題はたくさんあります」とも語りました。

今週の注目ニュース

◇18日(月) 点字ブロックの日

1967年のこの日、世界で初めて点字ブロックが岡山市の県立岡山盲学校近くの交差点に敷かれました。線状の誘導ブロックと点状の警告ブロックがあり、視覚障害のある人の安全な歩行を助けます。

きょうの紙面

- 2面 みんなのギモンにこたえるモン
- 3面 3分チャレンジ
- 4・5面 わが校わがまち スクール通信
- 6面 くわしく学べる! こども英語
- 7面 投稿特集
- 8面 こども記者インタビュー